



# 設立総会関連資料

日時：平成22年8月6日（金）

会場：新宿区立東戸山小学校

日本酪農教育ファーム研究会

## 日本酪農教育ファーム研究会 設立総会次第

平成 22 年 8 月 6 日 (金)  
午前 10 時半 ~ 12 時  
東京都 新宿区立東戸山小学校

- 1, 開 会
- 2, よびかけ人挨拶
- 3, 「設立宣言」の採択
- 4, 議長選出
- 5, 議事録署名人選出及び書記指名
- 6, 議 事
  - (1) 運営規約に関する件
  - (2) 役員選出に関する件
  - (3) 平成 22 年度 活動計画及び収支予算に関する件
- 7, 来賓挨拶
- 8, 閉会

### 日本酪農教育ファーム研究会設立呼びかけ人

代表：帝京短期大学 前教授 羽豆成二  
全国退職女性校長会 副会長 西田敦子  
新宿区立東戸山小学校 校長 國分重隆  
荒川区立尾久小学校 副校長 古庄輝男  
練馬区立大泉南小学校 教諭 横山弘美  
新宿区立花園小学校 教諭 小澤恵智子  
北区立第三岩淵小学校 教諭 中村順子

## 日本酪農教育ファーム研究会設立宣言

わが国において、酪農教育ファーム活動が始まって10年が過ぎました。今、酪農のもつ教育的価値を生かした実践は、それを実践する教師、その舞台となる牧場を営む酪農家と共に確実に増えています。

今後は、その活動の質を高めると同時に、これまでに積み上げてきた優れた実践を他の地域の取組にも生かせるように、全国の酪農教育ファーム活動を推進し、その成果を共有できるシステムを確立することが早急な課題となっています。

そのためには、酪農教育ファームの教育的価値を同じように肌で感じ、全国各地で実践を重ねてきたわたしたちが、こうした活動の基盤となる組織を作らねばならないと意を強くしました。その組織を活用して、日々行われている実践のタイムリーな情報をその教育的効果と共に蓄え、実践者はもとより、酪農家など、酪農教育ファーム活動を推進しようとする人々のニーズにいつでも応えられるようにしていくのです。

ところで、新学習指導要領の全面実施が目前に迫ってきています。そこでは、『生きる力』の育成とかかわって、思考力、判断力、表現力などの能力の育成が重視されています。そこで大切になるのが、豊かで質の高い体験です。そうした体験ができる場として、酪農教育ファームの教育的意義は大きいものがあります。牧場での体験が、各教科、道徳、総合的な学習の時間などの充実に生き、さらに、広く心の教育、食育、キャリア教育等の推進にも有効となるのです。

今こそ、酪農教育ファーム活動の取組の面的な広がり、確かな教育効果の実現を目指し、酪農教育ファーム活動の積極的な導入を全国的に推進するときです。全国各地で展開されている実践を集約し、その成果や課題を再確認することや実践のための調査・研究を全国規模で行っていく必要があります。そこから見えてくる効果的な酪農教育ファーム活動のあり方やその可能性をより明確にし、さらに新たな酪農教育ファーム活動を全国的に推進していくのです。このことは、酪農教育ファーム活動を今日まで推進してきた多くの教育関係者、酪農関係者の共通の願いでもあります。

この研究会の活動が、これからの社会を生きる子どもたちに必要な『生きる力』の育成、さらに、わが国の学校教育をはじめとする様々な教育活動における適切かつ効果的な体験学習のあり方や推進方策等の確立に寄与できることを確信します。

以上のような趣旨のもと、全国規模で、酪農教育ファーム活動を教育的な視点で検証し、その適切で効果的な取組を推進し支援するため、また、酪農教育ファームを教育の場として自信を持って実践している全国の教育関係者、酪農関係者がネットワークを強固にしていくために、その基盤となる全国組織である『日本酪農教育ファーム研究会』の設立をここに宣言します。

平成 22 年 8 月 6 日  
日本酪農教育ファーム研究会  
設 立 総 会

# 日本酪農教育ファーム研究会運営規約

## 第1章 総 則

第1条 本研究会は、日本酪農教育ファーム研究会（以下研究会）という。

第2条 研究会は、全国各地で酪農教育ファーム活動を展開している教育関係者が酪農関係者などと連携を図り、実践研究活動を行うことを通して「食といのちの学び」の充実・発展に資することを目的とする。

## 第2章 事 業

第3条 研究会は、第2条の目的を達成するために、下記の事業を行う。

1. 年次研究会の開催
2. 酪農教育ファーム活動に関する実践交流、意見・情報交換、研究活動
3. セミナー、研修会、その他の開催
4. その他研究会の目的を達成するための事業

## 第3章 会 員

第4条 会員は研究会の目的に賛同し、酪農教育ファーム活動の研究と実践に関心を持つものによって組織する。

第5条 会員は、酪農教育ファーム活動に関する実践の研究成果を発表することができる。

第6条 会員は年会費2,000円（学生会員は1,000円）を納入しなければならない。

## 第4章 組 織

第7条 研究会に下記の役員を置く。

1. 会長 1名
2. 副会長 2名
3. 監事 2名
4. 事務局長 1名
5. なお、上記の役員その他、総会の決議により、若干名の理事を置くことができる。

第8条 役員を選出は、会員の互選による。

第9条 会長は、組織を代表しその事業を総括する。副会長は会長を補佐し、会長不在の場合はその任務を代行する。

第10条 各役員任期は2年とし、再任を妨げない。

第11条 研究会には、研究活動の助言者として、顧問をおくことができる。

## 第5章 総会及び役員会

第12条 総会は、会長が招集し、研究会の事業および運営に関する重要事項を審議決定する。総会は毎年1回これを開く。

2. 総会の議長は、研究会の会長がその任にあたる。

3. 総会は、会員の2分の1以上の出席をもって成立し、議事は出席者の過半数で決する。ただし、可否同数の場合は、議長がこれを決する。

第13条 役員会は、その都度会長が招集し、総会の決定に基づき、研究会の事業及び運営に関する実務を行う。

## 第6章 事務局

第14条 研究会に事務局を置く。事務局長は事務および会計を総括する。

## 第7章 会計

第15条 研究会の経費は、会費・賛助金その他の収入をもってこれにあてる。

第16条 研究会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。ただし、初年度は平成22年8月6日から平成23年3月31日とする。

## 第8章 改正

第17条 研究会の運営規約の改正は、総会出席者の過半数の承認を要する。

(付則) 1. 本運営規約は平成22年8月6日から施行する。

## 平成22年度事業計画及び収支予算

### 【事業計画】

平成22年度の本研究会の事業は、設立初年度であることを踏まえ、研究会の設立を多くの関係者に広めるとともに、会員同士の実践交流を深めるために、研究会規約に基づき、主に以下の内容で行うものとする。

#### 1. 年次研究会の開催

本年度は、中央酪農会議が主催する全国実践研究委員会の協力・参加し、この場を活用して、会員の実践交流を行う。また、23年度年次研究会の開催に向けた準備を開始する。

#### 2. 酪農教育ファーム活動に関する実践交流、意見・情報交換、研究活動

会員同士の日常的な実践及び研究内容の報告、情報交流を行うため、独自に会員向けSNS（WEBサイト上のソーシャル・ネットワーク・システム）を構築する。

#### 3. セミナー、研修会、その他の開催

各地域の酪農教育ファーム推進委員会及び行政等その他の機関が開催する関連のセミナー、研修会、研究会、学会等に積極的に参加するとともに、可能な地域から、独自のセミナー、研修会等を開催する。

#### 4. その他研究会の目的を達成するための事業

本研究会の設立やその趣旨について、教育関係及び農業関係のメディアを通して積極的に広報し、多くの関係者の研究会参加を促進する。

また、本委員会の活動を円滑に推進するための仕組みや方法などについての検討を進める。このため、各会員からの多様な意見やアイデアを募集する。

## 【収支予算】

### 1. 収入の部

| 科 目   | 予 算      | 備 考                            |
|-------|----------|--------------------------------|
| 会 費   | 100,000円 | 50 会員 × @2,000 円<br>教育関係者、酪農家等 |
| 賛助金   | 100,000円 | 1 口 50,000 円 × 2 団体            |
| 研究受託費 | 0円       |                                |
| その他   | 0円       |                                |
| 合 計   | 200,000円 |                                |

### 2. 支出の部

| 科 目   | 予 算      | 備 考                 |
|-------|----------|---------------------|
| 会議費   | 30,000円  | 会場代 会議費他            |
| 調査研究費 | 50,000円  | 交通費 リーフレット他         |
| 印刷費   | 30,000円  | 研究紀要代他              |
| 通信費   | 5,000円   | 郵券他                 |
| 消耗備品費 | 25,000円  | 銀行印 ファイル代<br>記録用媒体他 |
| 謝 金   | 50,000円  | 講師謝礼                |
| 予備費   | 10,000円  |                     |
| 合 計   | 200,000円 |                     |

今回は、設立総会であり、詳細な品目については、計上していない。

初年度に当たり、運営上購入する備品などが考えられる。

23年度の総会時に、詳細な品目について提案し、検討していく。

平成22年8月6日

日本酪農教育ファーム研究会 顧問

| 所 属                          | 氏 名   |
|------------------------------|-------|
| 帝京短期大学 前教授                   | 羽豆 成二 |
| 国立教育政策研究所 教育課程研究センター基礎研究部・部長 | 角屋 重樹 |
| 国土館大学 こどもスポーツ教育学科教授          | 北 俊夫  |
| 愛知教育大学 生活科教育講座教授             | 野田 敦敬 |
| 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官      | 田村 学  |